



常陸太田市

議会だより

HITACHIOTA

No. 129
平成24年8月25日

発行 常陸太田市議会

●責任者 議長 茅根 猛

●編集 広報委員会

常陸太田市金井町3690番地

●電話 0294(72) 3111 (代) FAX 0294(73) 1119



議会報告会を開催（常陸太田地区）
7月13日 於：生涯学習センター

残暑お見舞い申し上げます。 常陸太田市議会議員一同

■ 平成24年 第2回定例会 開催 ■

主な内容

議会報告会を開催	2	請願・陳情・議員提案・意見書	10
市議会アンケート集計結果	3～7	一般質問・議員提案	11～14
第2回定例会提案理由説明・議案賛否一覧	8～9	常任委員会の審査から	15
		議会運営委員会・議会日誌・編集後記	16

議会報告会を開催

見える議会へ



各地区で行われた議会報告会の様子
上：金砂郷地区（金砂郷支所会議室）
右：常陸太田地区（生涯学習センター）
左：水府地区（水府総合センター研修室）

市議会は、市内4地区において開催する議会報告会を、常陸太田地区では7月13日に、金砂郷地区、水府地区ではそれぞれ7月17日、18日に開催しました。（※注）

議会報告会は、議会の活動報告とあわせ、市民の意見を聞かせていただき、議会での議論・政策形成につなげていく事を目的に行うもので、今年度は町会長を対象に開催。議員21名を4班に分けた一班12名が地区に出向き、これまで進めてきた議会改革の内容、常任委員会の活動について説明を行いました。

町会長との意見交換では、空き家対策の条例化を求めることや、少子化・人口減少への更なる取り組みを求めることなど各種の要望、東日本大震災・福島第一原発事故からの復旧復興の進捗状況について議会がどのように把握しているのか、市が進める複合型交流拠点施設の整備計画に対する議決の内容など多くの質問がなされました。

議会では、今後、これら意見交換で出された意見や質問を報告書として取りまとめ、常任委員会での協議を行うなど、議会全体としての対応方針を決定し、議会ホームページ等に公開してまいります。

議会報告会は、今年度の実施状況を踏まえ、平成25年度から市民の皆さんを対象に実施してまいります。

（※注 里美地区は開催日程を調整中）

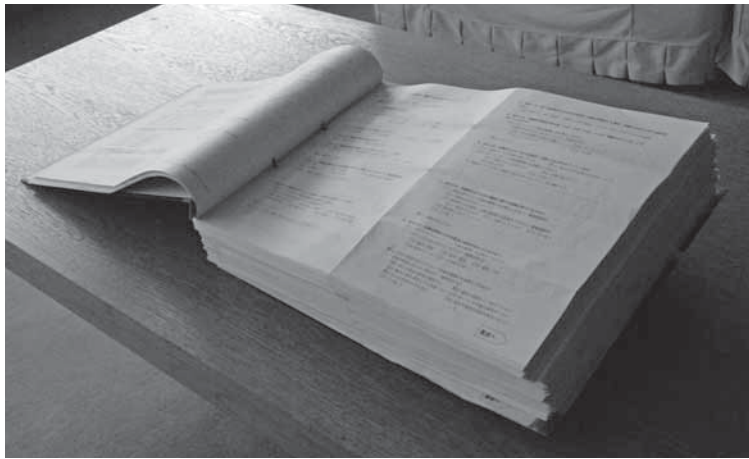
市議会に関する市民アンケート調査 にご協力ありがとうございました。

市議会では、議会に対する意見等を把握するとともに、今後議会が取り組むべき課題等の調査研究に資することを目的として市民アンケートを実施しました。

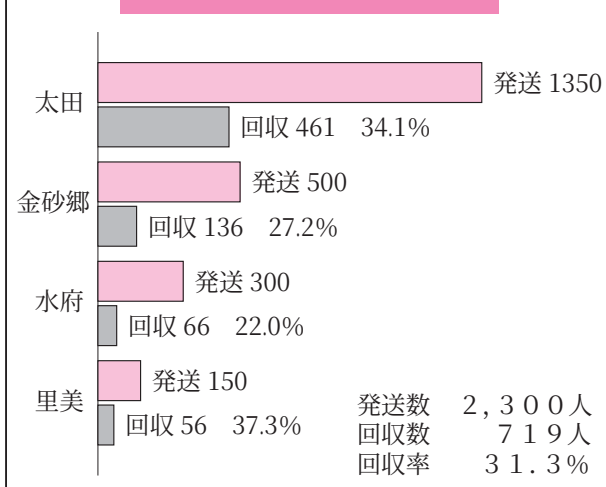
本アンケート（全20問）は、本年4月27日から5月11日まで、住民

基本台帳より年齢別、地区別に無作為に抽出した市民2300人を対象に実施、719人（回収率31.3%）の回答をいただきました。議会だよりでは、集計結果の主要部分を抜粋してお知らせいたします。

皆様からお寄せいただいたご意見は、議会として真摯に受け止め、市民にわかりやすい開かれた議会づくりに資することとし、なお一層の努力を進めてまいります。趣旨をご理解いただき、調査に協力いただきましたことに厚くお礼申し上げます。



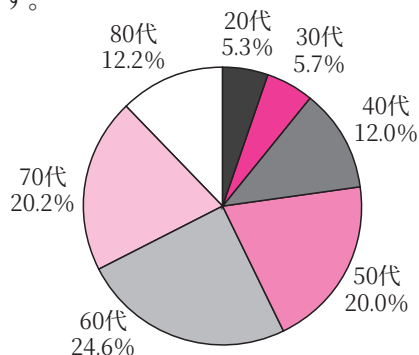
アンケート回収状況



回収率は里美地区が37.3%と一番高く、次いで太田地区が34.1%となっています。金砂郷地区と水府地区は20%台でした。

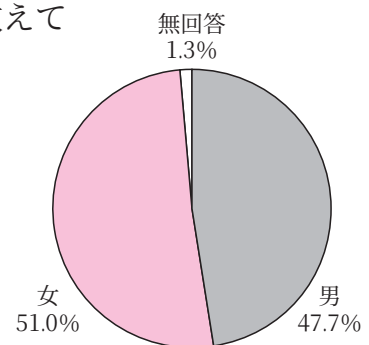
問2 あなたの年齢は次のうちどれにあてはまりますか。

60代が24.6%で一番多く、次いで70代が20.2%、50代が20.0%となっています。20代は5.3%、30代は5.7%となっています。



問1 あなたの性別を教えてください。

性別については「1 男」が47.7%、「2 女」が51.0%となっています。

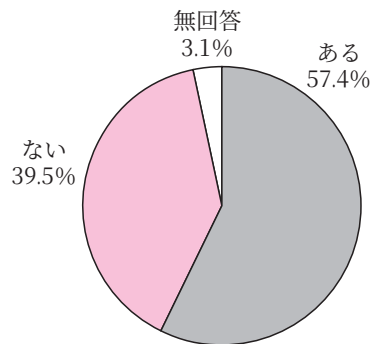


常陸太田市議会 アンケート 検索

アンケートの集計結果全文は、市議会ホームページで公開しています。

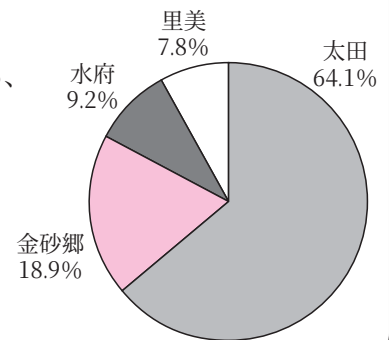
問4 あなたは、市議会に関心がありますか。

関心があるが57.4%
関心がないが39.5%
となっています。



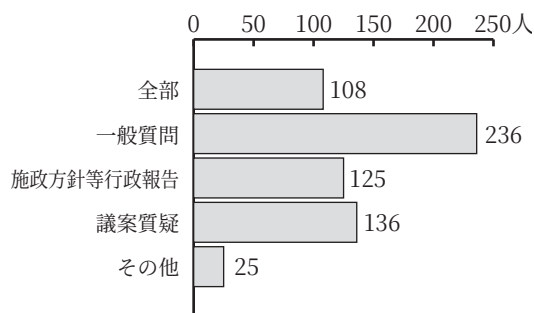
問3 あなたのお住まいについて教えてください。

太田地区が64.1%、
金砂郷地区は18.9%、
水府地区は9.2%、
里美地区は7.8%
となっています。



問6 あなたは、市議会の議会で主になにを傍聴しますか（傍聴したいですか）。（複数回答可）

一般質問が236人、次いで議案質疑が136人となっています。

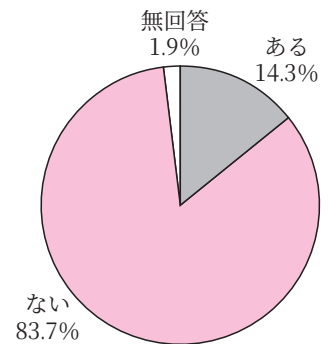


問5 あなたは、市議会の議会を傍聴したことがありますか。（1つだけ）

傍聴したことがないが83.7%となっており、傍聴したことがあるは14.3%となっています。

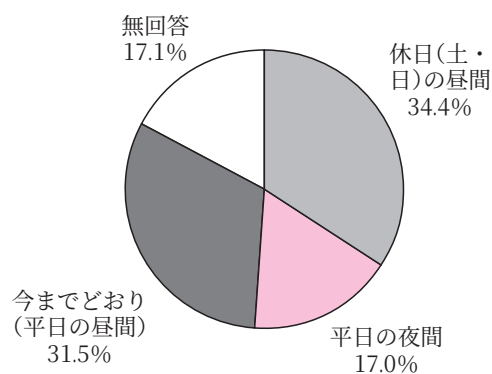
傍聴をしたことがあると答えた人の傍聴をした回数

1回	53人
2～5回	44人
6～9回	3人
10回以上	2人



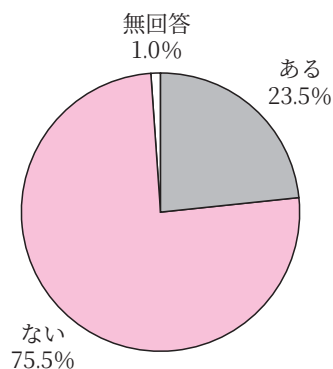
問8 休日（土・日）の昼間または平日の夜間にも議会を開催した場合、傍聴するならどれを選びますか。

休日（土・日）の昼間が34.4%となっており、次いで今までどおり平日の昼間が31.5%となっています。平日の夜間は17.0%となっています。



問7 あなたは、市議会のホームページを見たことがありますか（1つだけ）

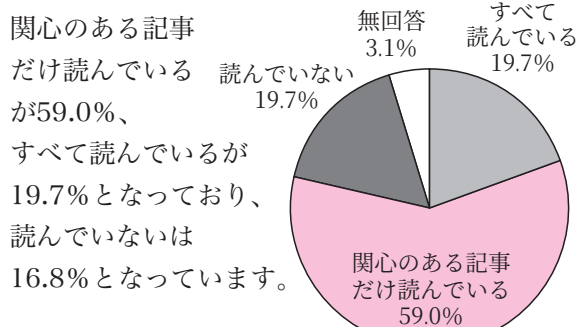
ホームページを見たことがないが75.5%、見たことがあるが23.5%となっています。



ホームページを見たことがあると答えた人が特に見ているもの

議会のあらまし	44人
皆さんと議会	8人
市議会議員の紹介	43人
議会日程	10人
議会だより	103人
会議録	30人
議会中継	13人

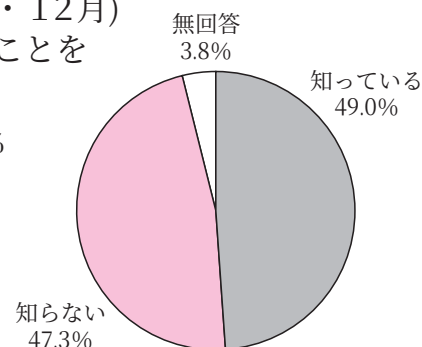
問10 あなたは、市議会だより(年4回発行)を読んでいますか。(1つだけ)



読んでいないと答えた人の読まない理由	市議会だよりを知らない	31人
	記事が読みづらい	9人
	関心がない	58人
	その他	6人

問9 あなたは、市議会定例会が年4回(3月・6月・9月・12月)開催されていることを知っていますか

知っているが49.0%
知らないが47.3%
となっています。

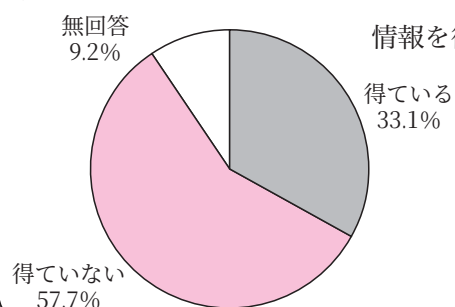


知っていると答えた人の市議会の日程を知った方法

市の広報紙(お知らせ版)	290人
ホームページ	25人
友人・知人から	30人
その他	21人

問11 あなたは、市議会だより以外で議会に関する情報を得ていますか。

情報を得ていないが57.7%、情報を得ているは33.1%となっています。



情報を得ていると答えた人の情報源

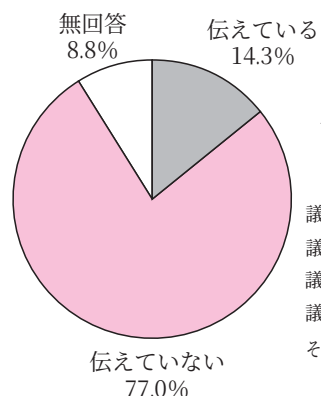
ホームページ	115人
議員個人の広報紙	133人
議員個人のホームページ	12人
その他	11人

議員個人の広報紙と答えた人の情報源

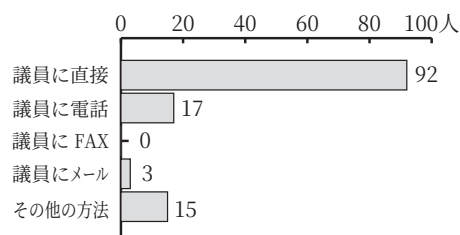
郵送	69人
手渡し	29人
その他	18人

問12 あなたは、市議会議員に自分の意見や要望を伝えていますか。

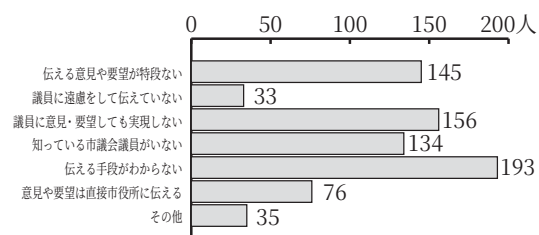
市議会議員に意見や要望を伝えていないは77.0%となり、伝えているは14.3%となっています。



伝えていると答えた人の伝える方法

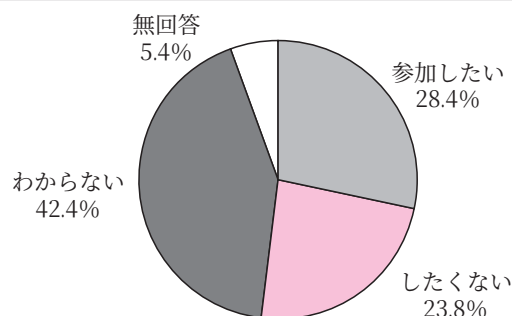


伝えていないと答えた人の伝えない理由



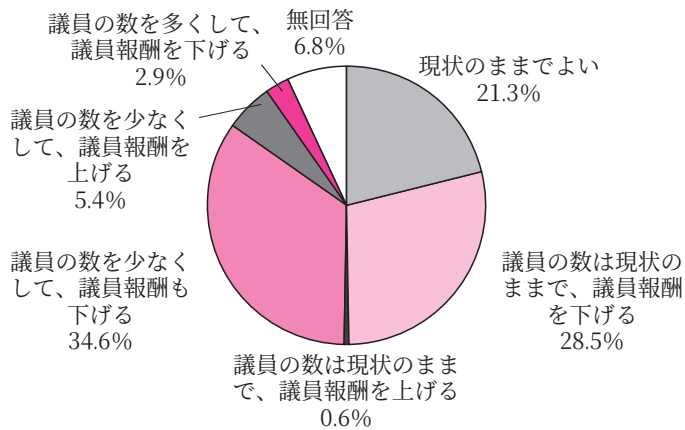
問13 あなたは、「議会報告会」を開催した場合、参加したいと思いますか(1つだけ)

議会報告会へ参加したいは28.4%、参加したくないは23.8%となり、わからない42.4%となっています。



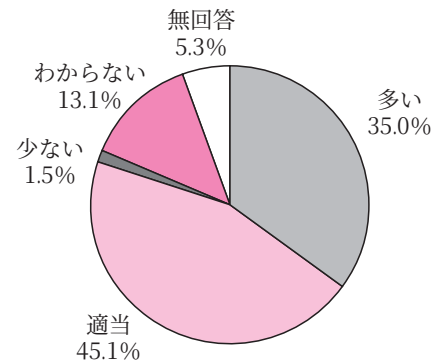
問15 議員定数と議員報酬のあり方はどのような姿が望ましいとお考えですか。(1つだけ)

議員の数を少なくして、議員報酬も下げるが34.6%となり、次いで議員の数は現状のままで、議員報酬を下げるが28.5%、現状のままでよいは21.3%となりました。



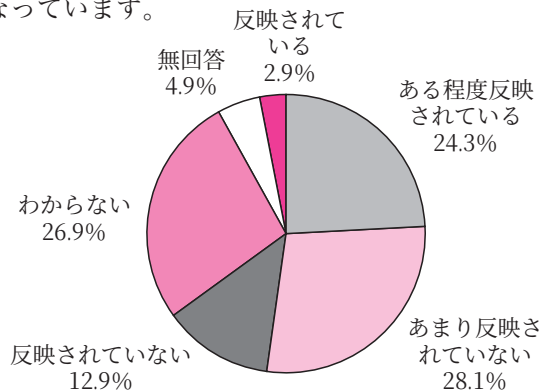
問14 本市の議員数22人について、どう感じますか(1つだけ)

議員数が適当は45.1%、次いで多いが35.0%となり、わからないが13.1%、少ないは1.5%となっています。



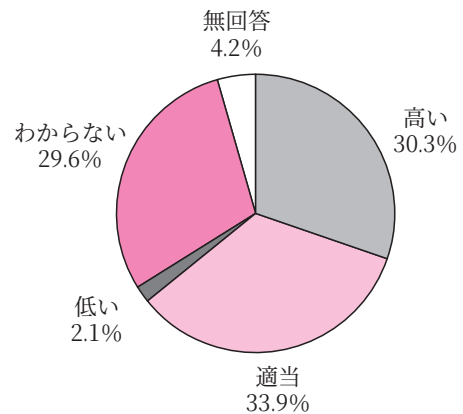
問17 あなたは、市議会に市民の声が反映されていると思いますか。

反映されているが2.9%、ある程度反映されているが24.3%、あまり反映されていないが28.1%、反映されていないが12.9%となり、わからないが26.9%となっています。



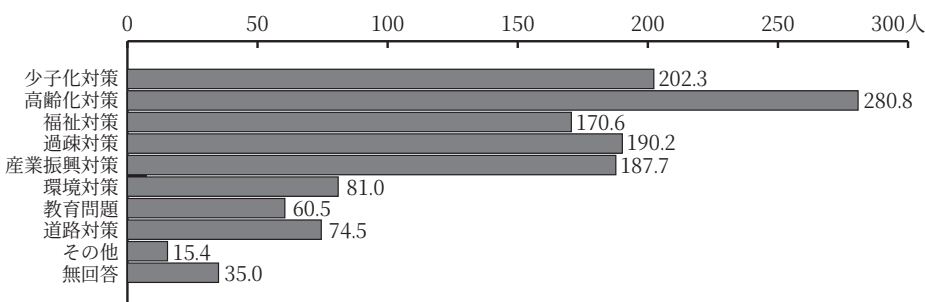
問16 政務調査費についてどう感じますか。(1つだけ)

適当が33.9%となり、次いで高いが30.3%、わからないが29.6%となりました。



問18 あなたは、政策課題として特に何を希望しますか。(2つまで)

高齢化対策が280.8人、次いで少子化対策が202.3人、過疎対策が190.2人、産業振興対策が187.7人、福祉対策が170.6人となっています。(小数点以下は按分による)

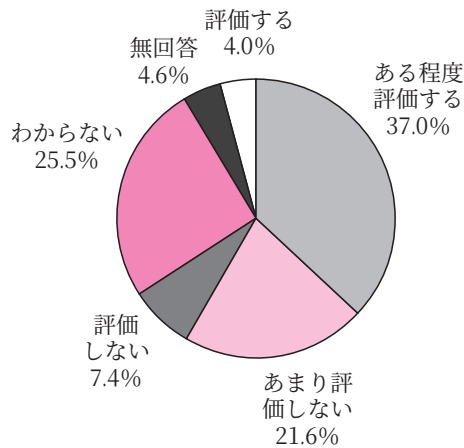


政策課題その他の意見

- ・空き家対策・自然エネルギー
- ・農業対策・市の借金返済対策
- ・ムダの排出・相続問題
- ・放射能対策・財政問題
- ・働く場所づくり
- ・2つとは言わずすべて

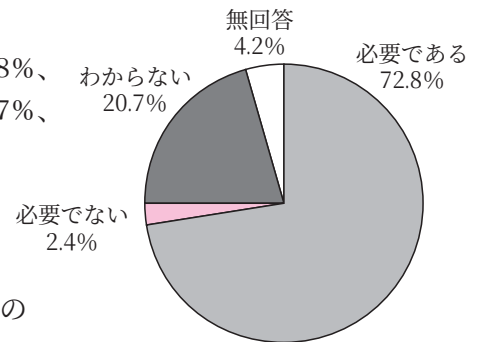
問20 あなたは、今の市議会をどのように評価しますか。

ある程度評価するが37.0%、評価するが4.0%となり、あまり評価しないは21.6%、評価しないは7.4%となっています。

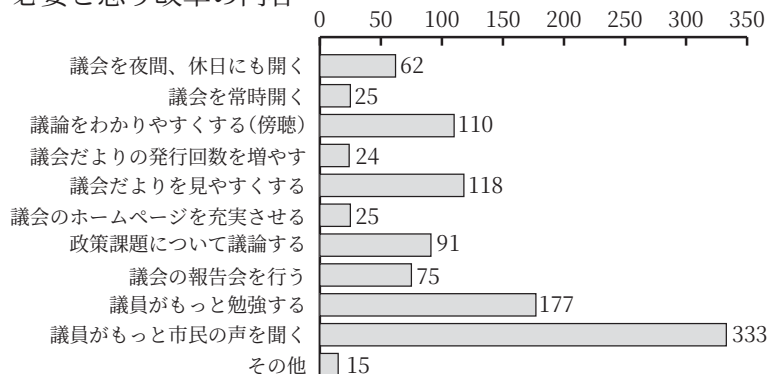


問19 あなたは、市議会の改革が必要だと思いますか。(1つだけ)

改革が必要であるが72.8%、次いでわからないが20.7%、必要でないは2.4%となっています。



改革が必要と答えた人の必要と思う改革の内容



市議会に対するご意見やご要望（一部を抜粋して掲載させていただきます）

●議員は市民の代表との自覚に立ち自ら学び、意見をよく聞いて、自分のためではなく市民の第一に働いてもらいたい。そのような議員が多くなる市議会を望む。●平成24年度の市の第一の政策課題である人口問題。喜んで常陸太田市へUターンして来る若者、その他転居してくる人々の受け入れ、さらに婚活等、私達も地域で(縁結び)に力を注ぎたいと常日ごろ考えている。議員のみなさまも政策課題が少しでもよい成果が上がるようご尽力下さい。●このような形で聞くのは良い。もっと市民の側にボランティアで来るべきである。●矢祭町と同様、報酬は日額にしたらどうか。本来ならば、好んで大金を使って選挙までやって議員になるのだから、報酬や手当、費用弁償などは支給する必要がないと思う。あてにしないでもらいたい。●このようなアンケートを吸い上げる勇気と斬新な感覚に深謝し、頼もしく思いました。僻地ほど説明会とか意見交換会には出にくいのでアンケートは民意を表すだろう。効果のある方策だと思う。●市議会にはあまり関心がない。何をどうやって要望や意見等を伝えていいのかわからないうえに、議員とめったに会う機会もなく、市民と議員のつながりが無いようにも思える。●行政からの提案事項に対して賛成反対を論ずるばかりではなく、議員自らが懸案事項に対する具体的な解決案を議会で提案できるようにしてほしい。常陸太田市には課題が山積している。議員一人ひとりにその気持ちがあれば、常陸太田市は良くなる。そのためには、議員の数はもう少し少なくてよい。議員の活動がよく解るようにしたい。●議会がいつ開かれているかわからないので、告示等をもっと広くやってほしい。市民の意見を取り入れてくれるのなら、意見を出しやすいようにしてほしい。議会に取り入れる議案等をこういうアンケートを使って収集する。議員の報酬が高い。本当に常陸太田市のために働きたいと思っているなら報酬が低くてもやるはず。若い世代の意見をもっと取り入れるべき(少子化・過疎化のカギ)。形式にとらわれずにもっとわかりやすく。●議会だよりは簡潔にして、読みやすくしてもらいたい。質疑の要点と結果を重点的にお願いしたい。市側の回答などで「検討します」などは「未決」として記載してもらいたい。また、議員の発言の全部を記載するのはやめてもらいたい。議会の報告会は各地区(町毎)にてお願いできれば議会がより身近なものになるでしょう。●議員がもっと市民に近づいて要望や意見を聞きだす姿勢や工夫をしてほしい。●委員会は1日に3委員会を同時に開くなどして会期を短くし、市職員が仕事に専念したほうが地元やニーズへの対応が良くなるのではないかな。一般質問の形でなく、執行部に確認すれば済む問題は委員会の中で済ませられるので、本会議はもっとコンパクトになるのではないかな。●市議会を傍聴したいと思うが平日には傍聴できない。働いているため平日は休めない。子供の行事で休むことも多いため、働くということは子供がいてもそうそう優遇はされません。●無駄遣いをなくすことはとても良いと思うが、その使い道のほうが大切ではないか。本当に必要なのか、そうでないのか、もっと慎重に使うべきではないか。申請されたからといって出してしまうのはどうかと思う。議員報酬についても議員がそれだけの仕事をしているのか調査研究をしなければならないことなのか。資質の問題ではないでしょうか。

第2回定例会

提案理由説明（要旨）



第2回定例会の提出議案は、専決処分の報告9件、予算の繰越明許費に関する報告4件、条例の制定1件、条例の一部改正2件、平成24年度各会計補正予算5件、合わせて21件でございます。

専決処分の内容としては、特別交付税の確定、市債の変更及び災害復旧事業の財源の確定等にかかわる予算措置として、平成23年度一般会計、特別会計、企業会計予算を補正。また、地方税法等の改正に伴う市税条例、都市計画税条例、国民健康保険税条例の一部改正であります。

主な議案として、常陸太田市金砂ふるさと体験交流施設の設置及び管理に関する条例の制定については、旧金砂小学校を活用した体験交流施設の設置に当たり、施設の設置及び管理について必要な事項を定めるため制定するもの。常陸太田市駐車場設置及び管理に関する条例の一部改正については、駅西駐車場を設置するため、条例の一部改正を行うものであります。

また、今会期中に、人事案件1件の追加提案を予定しております。

第2回定例会 議案賛否一覽

△全員賛成で可決した議案▽

議案名		付託委員会	議決結果
報告第5号	専決処分の承認を求めることについて（常陸太田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	本会議	原案承認
報告第6号	専決処分の承認を求めることについて（平成23年度常陸太田市一般会計補正予算（第10号））	本会議	原案承認
報告第7号	専決処分の承認を求めることについて（平成23年度常陸太田市下水道事業特別会計補正予算（第6号））	本会議	原案承認
報告第8号	専決処分の承認を求めることについて（平成23年度常陸太田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第6号））	本会議	原案承認
報告第9号	専決処分の承認を求めることについて（平成23年度常陸太田市戸別合併処理浄化槽設置整備事業特別会計補正予算（第4号））	本会議	原案承認
報告第10号	専決処分の承認を求めることについて（平成23年度常陸太田市簡易水道事業特別会計補正予算（第5号））	本会議	原案承認
報告第11号	専決処分の承認を求めることについて（平成23年度常陸太田市水道事業会計補正予算（第5号））	本会議	原案承認
報告第12号	平成23年度常陸太田市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	本会議	報告
報告第13号	平成23年度常陸太田市下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書について	本会議	報告
報告第14号	平成23年度常陸太田市農業集落排水事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書について	本会議	報告

△起立採決となった議案▽

議案名		付託委員会	審査結果
報告第3号	専決処分の承認を求めることについて (常陸太田市市税条例の一部を改正する 条例)	本会議	宇野 隆子 高木 将 沢畠 亮 黒沢 義久 後藤 守 川又 照雄 山口 恒男 福地 正文 片野 宗隆 成井小太郎 荒井 康夫 高星 勝幸 深谷 秀峰 菊池 伸也 益子 慎哉 平山 晶邦 鈴木 二郎 深谷 涉 木村 郁郎 赤堀平二郎 藤田 謙二
報告第4号	専決処分の承認を求めることについて (常陸太田市都市計画税条例の一部を改 正する条例)	本会議	× ○

【○…賛成 ×…反対】

※議長の表決権：過半数議決の場合、議長には表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数の場合、可決か否決か決定することが出来る採決権が認められています。

報告第15号	平成23年度常陸太田市水道事業会計予算繰越計算書について	本会議	報告
議案第40号	常陸太田市金砂ふるさと体験交流施設の設置及び管理に関する条例の制定について	産業建設委員会	原案可決
議案第41号	常陸太田市印鑑条例等の一部改正について	文教民生委員会	原案可決
議案第42号	常陸太田市駐車場設置及び管理に関する条例の一部改正について	総務委員会	原案可決
議案第43号	平成24年度常陸太田市一般会計補正予算（第1号）について	総務委員会	原案可決
議案第44号	平成24年度常陸太田市下水道事業特別会計補正予算（第1号）について	産業建設委員会	原案可決
議案第45号	平成24年度常陸太田市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）について	産業建設委員会	原案可決
議案第46号	平成24年度常陸太田市水道事業会計補正予算（第1号）について	産業建設委員会	原案可決
議案第47号	平成24年度常陸太田市一般会計補正予算（第2号）について	総務委員会	原案可決
議案第48号	常陸太田市及び一部事務組合公平委員会委員の選任について	本会議	原案同意
議員提案第2号	森林湖沼環境税の継続を求める意見書の提出について	本会議	原案可決
請願第2号	「東海第2原子力発電所の再稼動に反対する意見書」の採択を求める請願	本会議	趣旨採択

請願・陳情

件名	提出者	結果
請願第2号 「東海第2原子力発電所の再稼動に反対する意見書」 の採択を求める請願	茨城県常陸太田市磯部町617-4 常陸太田平和の会 会長 鈴木正彦 茨城県常陸太田市谷河原町647 茨城県高等学校教職員組合太田支部 支部長 篠原睦美 茨城県常陸太市内田町3659 茨城県商工団体連合会日立民主商工会那珂支部 支部長 鷹碯信一 【紹介議員 宇野隆子・片野宗隆】	趣旨採択
陳情第4号 東海第二原子力発電所の再稼動を認めず、廃炉を求める意見書提出を求める請願 ※提出者の求めにより陳情としての取り扱いとなりました。	茨城県つくば市柴崎955-5 脱原発ネットワーク茨城 世話人 江口肇 小張佐恵子 長田満江	報告

議員提案

件名	提出者	結果
議員提案第2号 森林湖沼環境税の継続を求める意見書の提出について	提出者 常陸太田市議会議員 高星勝幸 賛成者 高木将、後藤守、成井小太郎、荒井康夫 深谷秀峰、益子慎哉	原案可決

第2回定例会で議員提案された下記の意見書が可決され、茨城県知事あて提出されました。

森林湖沼環境税の継続を求める意見書

茨城県においては、森林保全、湖沼・河川等の水質環境保全、さらには、地球温暖化防止など公益的機能の環境保全の施策の一層の推進を図るため、平成20年4月1日より平成25年3月31日まで5年間の時限措置として森林湖沼環境税を導入されたところである。

これを受けて、県内全市町村において環境保全のため、森林整備の推進、生活排水などの汚濁負荷量の削減、いばらき木づかい運動の推進、県民協働による森林づくりの推進等々施策の推進が図られ、公益的機能の維持・回復など一定の成果に繋がっているところである。

しかし、平成25年度以降緊急に間伐が必要な森林整備の見通しとしては、予定より増加し、平成24年度末で約8,000ヘクタールになるものと見込まれている。

また、湖沼・河川等の水質環境保全対策の中では、特に霞ヶ浦の水質が植物プランクトンの増殖などの影響により、水質保全計画の目標を達成するには至っていない状況にある。

このような中、当市においても間伐推進等の森林の整備、生活排水などの汚濁負荷量の削減など4事業を実施し、これまで一定の成果に繋がっているものの、平成25年度以降の緊急に間伐が必要な森林は、平成24年度末で約1,000ヘクタールになるなど、引き続き森林整備のための施策の展開が必要となっている。

よって、森林の保全整備や湖沼・河川等の保全が所期の目的とおり達成し、森林の持つ多面的機能の回復を図り、県民の快適な生活に寄与する事業のため、森林湖沼環境税の継続を強く要望するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年6月21日

常陸太田市議会

(提出先) 茨城県知事



県知事あて意見書を提出 茨城県庁

上記意見書にあわせ、茨城県議会議長、茨城県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟会長あて森林保全整備や湖沼・河川等の保全と森林の持つ多面的機能の回復を図り、県民の快適な生活に寄与する事業が継続して行われるよう森林湖沼環境税の継続を求める要望書を提出しました。

※掲載内容は一般質問の一部を要約したものです。
発言の詳細は議会ホームページ・市図書館で公開する会議録をご覧ください。
平成24年第2回市議会定例会の一般質問は一問一答方式で行われ、7名の議員が登壇しました。
(次ページから掲載)

一

般

質

問

赤堀平二郎 議員

Q1 本年3月の市議会定例会において、東北地方の震災ガレキの受け入れに関する決議が賛成多数をもって原案可決された。震災・津波によって家や肉親、友人を失って今なお苦労の中にいる被災地の皆様を想うとき、日本という国土に同時代を生きるものとして寄添い、その痛みを少しでも分かち合うべきと考えるが、本市は今後どのような方針で臨まれるのか伺いたい。

A1 市民生活部長 県では受け入れに前向きな自治体に対して説明会を実施し、震災廃棄物の放射性物質濃度の受け入れ基準を1kgあたり国の基準240ベクレルより厳しい100ベクレル以下とする県独自の基準を示した。その後受け入れに関わる県との協議の中で受け入れ量・種類・輸送方法・時期等を協議し、基本協定締結等、県との連携の中で基準を進めている。また、震災ガレキの安全性

について、受け入れ前に住民説明会を環境省と県が中心となり開催する等県と連携を図りながら進める。震災ガレキ処理に関わる費用の負担は、いったん市が負担し、後に国に請求をする。

A2 教育長 峰山中の通学路については、午前7時30分から午前8時10分まで農耕車以外一般車両の通行が禁止されており、今後、警察等関係機関に働きかけ、取締り強化等により生徒が安全に通学できるように努めたい。

Q1 復興支援震災ガレキの受け入れについて
Q2 通学路の安全確保について

藤田 謙二 議員

Q1 自主防災組織について、結成状況、防災リーダーの育成、平時時の活動推進、防災の日を制定するなど総合的な訓練の実施について、考えを伺いたい。

Q1 防災リーダー育成や総合的な訓練の実施を
Q2 災害関係の的確且つ迅速な情報発進を

定。平時時の活動については、これまで機械や久米などの地区を単位として防災訓練を実施している。引き続き準備も含め、各地区での防災訓練実施の協力・支援を行っていく。また全組織を対象に今年度から3年間で、防災資機材整備の補助も行っていく。総合防災訓練については、内容や規模にもよるが、その準備期間や人員の課題もあることから、今後検討していきたい。

Q2 日」と定め、これを受け県では市町村持ち回りで総合防災訓練を行っている。現段階で市独自に防災の日を制定する考えはない。

に關わるものなど緊急性のあるものの以外は、概ね午前6時から午後10時までの放送としている。また、震災の経験を活かして、市民の皆様への情報配信の手段として、メール一斉配信、エリアメール、フェイスブック、ツイッターの運用を始めるなど拡充を行ってきた。現在は防災行政無線の放送を、メール一斉配信とホームページにも掲載している。

A1 総務部長 平成23年度をもって全124町会において結成いただいた。防災リーダーの育成については、消防本部と連携して今年度の10月頃までに、講習並びに実技による研修会を、1組織2名程度の参加のもと開催予

A2 総務部長 防災行政無線については、平時時は人命等

Q2 災害情報の配信について、防災行政無線の放送時間帯や市ホームページ、災害情報メール等の連動性について伺いたい。

A2 総務部長 防災行政無線については、平時時は人命等

【藤田 謙二 議員 質問事項】
・自主防災組織について
・震災の記録について
・災害情報の配信について

【赤堀 平二郎 議員 質問事項】
・復興支援について
・教育問題について

平山 晶邦 議員

Q1 常陸太田市が裁判所の令状にもとづく警察の家宅捜査を受けたことは、市始まって以来の出来事である。市民は震災木くず処理で、なぜ市が家宅捜査を受けなければならなかったのか、何があったのかを理解できていないので、今回の刑事事件の経過を説明願いたい。

A1 市民生活部長 震災により排出された木くずは、(株)

Q1 警察の市庁舎への家宅捜査の経過の報告を
Q2 市営住宅の入居状況と滞納状況の対策を

北越フォレストと委託契約を結び処理を進めた。木くず置き場としていた県有地を返却するにあたり、原状に復するため、表土にのめりこんでいる土砂の処理をする必要があり、北越フォレストから土砂を再利用できる業者がいることを了承し依頼した。北越フォレストが委託した業者が「廃棄物処理及び清掃に関する法律」と「砂利採取法」違反の容疑で4月24日市環境政策課が家宅捜査を受け関係

書類等が押収となった。市は警察の事情聴取に協力し、捜査の推移を見守っているところである。

滞納を伺いたい。

A2 建設部長 毎年7月から8月に収入申告を査定して入居状況を把握している。滞納状況は、3ヶ月以上が97名、そのうち12ヶ月以上が55名、滞納金額がもっとも多いものは約260万円である。滞納金額が多い滞納者6名程度については法的手続きに入っていく。

深谷 渉 議員

Q1 東日本大震災では、多くの学校で天井材やガラスなどの落下や破損による人的被害が多発した。建物の躯体の耐震化は計画されているが、これら非構造部材の耐震化計画はない。国もこの点を問題として、条件の良い「学校施設環境改善交付金」制度を創設している。積極的に活用し耐震化を図るべきと考えるが、所見を伺いたい。

A1 市民生活部長 震災により排出された木くずは、(株)

Q1 学校施設の非構造部材の耐震化対策を急げ
Q2 市税の口座振替納付済通知の有用性に疑問

A1 教育長 非構造部材の点検には、学校と学校設置者の二つがあり、二つの調査結果に基づき、耐震化が必要な箇所については、今後の躯体の耐震化工事にあわせて計画的な改修を図ってきたいと考える。「学校施設環境改善交付金」は、補助率が三分の一で、地方債の元利償還金の80%が地方交付税に算入されることから活用し、耐震化を図ってきたい。

Q2 市税の口座振替納付済通知は、全国的に廃止している自治体が多くなっている。実際に廃止しても大きな問題がないと考える。廃止による問題点と経費の削減、事務の効率化の観点と、廃止に対する考えを伺いたい。

書の廃止により、通知書作成委託料70万円、郵送料30万円、合計100万円の経費削減が出来、あわせて、通知発送事務の軽減化を図ることもできると考える。経費節減と事務の効率化、あわせて特に問題が生じないと考えられることから規則の改正を含めて、廃止する方向で検討する。

A2 総務部長 廃止した時の間題点については、通知を廃止した市からは「問題が生じていない」と聞いている。また、通知

【深谷 渉 議員 質問事項】

- ・自治基本条例について
- ・通学路の安全対策について
- ・学校施設の非構造部材の耐震対策について
- ・がん対策について
- ・市税の「口座振替納付済通知書」について

【平山 晶邦 議員 質問事項】

- ・財政健全化について
- ・震災木くず処理事案について
- ・生活保護世帯の増加について
- ・市営住宅の状況について

菊池 伸也 議員

Q1 電力料金の値上げの話を受
け、自治体の公共施設や企
業等において電力供給を特定規模
電気事業者「PPS」に切り替え
るところが出てきている。本市に
おいても経費削減を考えれば、電
力PPSの導入を検討するべきで
あると思うが、執行部の考えを伺
いたい。

A1 総務部長 市施設の管理運
営については、常に効率的・

深谷 秀峰 議員

Q1 4月1日から食品中の放射
性セシウムの基準値が大幅
に引き下げられ、より精度の高い
検査態勢が要求されるが、水道水
についてはどの様な検査計画で行
うのか。また、農産物等の迅速な
放射能測定策について伺いたい。

次に、プラトリーさしみ周辺の除
染計画で、除去物質の保管の安全
確保と、牧場内の除染について伺
いたい。

Q1 電力料金値上げ対策と電力PPSの導入 Q2 山田小学校グラウンドの安全確保について

効果的に行われなければならない
と考えている。PPS事業者への
切り替えについては昨年検討を開
始したが、国等における温室効果
ガス等の排出の削減に配慮した契
約の推進に関する法律の趣旨を踏
まえ、クリーンエネルギーと料金
の両立という観点から検討を中断
した経過がある。しかしながら、4
月から自由化部門である高圧電力
の電気料金が引き上げられたこと
から再度検討をしている。このた
め、切替が可能と思われる小中学
校22校、本庁舎など18施設につい
て、PPS事業者に切り替えるこ
とを前提として、現在、鋭意取り組
んでいる状況である。

Q2 山田小グラウンドに3箇所
のマンホールが設置されて
おり、1箇所はグラウンド中央で
大変危険である。配水管の経路変
更等の検討状況を伺いたい。

A2 教育長 去る5月29日の大
雨で、集水枡から水が噴き
出し、グラウンドの土が流れるな
どの被害が発生した。市教育委員
会では、速やかに現地を確認し応
急処置を施した。今後、子供たち
にとって危険でもあるグラウンド中
央にある排水枡を撤去するととも
に、早急にU字溝等を別路線で敷
設して、児童にとつて安全で良好
な教育環境の確保を図る。

Q1 放射能被害対策に万全を期すためには

A1 上下水道部長 水道水の検
査については、4月から6
月までは週1回の検査とし、放射
性セシウムが検出されなかった場
合は、以降毎月1回実施し、高濁
度時には随時の検査を行っていく
考えである。

産業部長 3月下旬から5月末に
かけては、測定申込件数が大幅に
増え、処理に時間を要したが、6
月からは申請数も落ち着き、当日
中に結果を知らせることも可能と

なった。今後は、市の測定器が2
台、J Aも測定器を購入するとい
うことで、関係機関との連携を図
り測定体制を強化していく考えで
ある。

市民生活部長 除去土壌等の仮置
き場については、放射線の漏洩で
観光客等に悪影響をもたらすこと
がないよう、国の除染ガイドライ
ンに従って、土砂等で十分遮蔽
し、設置後の放射線モニタリング
についても週1回以上実施し、安

全の確保に万全を期す計画であ
る。

里美牧場内の放牧地について
は、一部基準値以上の空間放射線
量を示しているところもあり、今
後は、管理者である茨城県酪農業
協同組合連合会から要望があれ
ば、除染対象区域の変更について
国と協議していくこととする。

【深谷 秀峰 議員 質問事項】
・放射能被害対策について

【菊池 伸也 議員 質問事項】
・教育環境の整備について
・エネルギー環境政策と省エネ対策について
・入札制度について

宇野 隆子 議員

Q1

水道水に使われている竜神ダムに、放射性物質が山から流れ込み蓄積されていることも考えられる。そのため先日、私は湖底の調査を県に要望してきた。市としても竜神ダム湖底の調査を県に申し入れてほしいがどうか。

特別措置対象地区の除染はスビード感をもって進めてほしい。また、里美牧場内の除染について「きちんと測定し、必要があれば除染してほしい」という声が届いている。茨城県酪農業協同組合連

Q2

Q1

竜神ダム湖底調査と里美牧場の放射能汚染対策を

ごみの分別収集の新しい方法に市民の声を

合会などをつくる「協議会」と十分協議して要望に応えてほしいがどうか。

A1

上下水道部長 ダム湖底の堆積汚泥は国で調査をしているので、調査箇所を追加することとを県から国に要望を強めてもらうよう県に要望する。

市民生活部長 特別措置対象地区の除染はプラトリー里美周辺地区の放射線量の再測定を実施している。設計が済み次第除染に入る。

Q2

新しいごみの分別収集について、8月1日を実施目標に説明会が開かれている。ポリバケツ、コンテナ等を置く場所がない「今ある集積場所を減らさない

A2

市民生活部長 丁寧に相談に応じながら対応していく。片付けは回収業者が重ねてまとめておき地元の負担の軽減に努める。

でほしい」「当番を決めるのがむずかしい」「8月実施は拙速の感がする」などさまざまな声が市民から寄せられている。ポリバケツ、コンテナ等の片付けは回収業者ができないか。周知の状況と市民の意見・問題への対応を伺う。

議案質疑

(第2回定例会)

問 議案第40号常陸太田市金砂ふるさと体験交流施設の設置及び管理に関する条例の制定について、使用料の料金設定の考え方を伺いたい。また、市長は特に必要があると認めるときは使用料を減額し、または免除することができるということになっているが、特に必要があると認めるときは、具体的にどのようなケースなのか伺いたい。

産業部長 この施設は、地域資源を生かし、都市と農山村の交流促進を図り、活力ある地域づくりを目的とした体験交流施設であり、料金設定の考え方については、県内の同様の施設の使用料及び本施設の管理運営等に係る必要経費等を勘案するとともに、家族等の利用を促進する上で、未就学児は無料とし、また体験交流という施設の目的から連泊利用も考えられることから、連泊による利用者、リネン費相当分を割り引いた料金の設定とした。

使用料の減免については、市が主催、または共催する事業に使用する

ときは免除とし、その他、市長が特に必要と認めるときは市長が定める額とし、15名以上の団体が利用するときは連泊料金と同額とする。また、市内の各種団体等の日帰りによる施設使用の場合においても減額を考えている。また、公民館が主催する各種事業や金砂地区の団体等が利用する場合、さらには市内の子ども会及びスポーツ少年団等が使用する場合については、それぞれ市長が定める額とする。

問 議案第43号平成24年度常陸太田市一般会計補正予算(第1号)について、金砂ふるさと体験交流事業費が計上されているが、補助金の使途について伺いたい。

産業部長 今回計上した補助金については、常陸太田市ふるさと体験交流施設の開設後の体験メニューを企画立案及び実施する金砂地区ふるさと協議会へ補助するもので、その補助内容は、体験用の消耗品や販売用の浴用タオル、シャampoo、石けんセット等を事前に準備するための運営費補助金である。

【宇野 隆子 議員 質問事項】

- ・原発にたよらない自然エネルギー活用について・放射能汚染対策について
- ・震災木くず処理について・公契約の適正化について・介護保険について
- ・特定健診について・ごみの分別収集の体制の見直しについて
- ・勝田特別支援学校の当市への誘致について

第2回定例会

常任委員会の審査から

総務委員会

総務委員会では、条例の一部改正1件、補正予算2件、請願1件、合計4件の審査を行った。

議案第42号駐車場設置及び管理に関する条例の一部改正では、新設された駅西駐車場について、以前の土地利用状況、現在の駐車場利用状況について。議案第43号常陸太田市一般会計補正予算(第1号)では、教育費の学びの広場サポーター事業拡充の背景、サポーターの配置計画の概要について質疑が行われ、付託された3議案を全会一致で原案可決すべきものと決定した。

請願第2号「東海第2原子力発電所の再稼動に反対する意見書」の採択を求める請願では、福島原発の状況、津波、震災、原発事故と二重三重の被害を思えば、請願に賛同するという意見。また、請願項目について、趣旨は理解できるとし、国・県とも請願の趣旨に沿った動きを始めたところであり、趣旨採択とすべきとする意見。将来、原発依存度を下げていく事は当然と考えるが、電力の供給体制が確立していない以上、現時点で即意見書という形にはならない。とする意見等が出され、起立採決により趣旨採択すべきものと決定した。

また、協議会活動として、4月20日、少子化・人口減少の現状と課題等について。5月21日には少子化・人口減少対策の取り組みの現状と今後の対応について、それぞれ市担当課に説明を求め、意見交換を行った。

【委員会構成】

委員長	益子 慎哉	委員	片野 宗隆
副委員長	深谷 渉	委員	成井小太郎
委員	沢島 亮	委員	荒井 康夫
委員	後藤 守	委員	赤堀平二郎

文教民生委員会

文教民生委員会では、条例の一部改正1件の審査を行った。

議案第41号常陸太田市印鑑条例等の一部改正では、条例の一部改正により懸念される点はあるのか。また、対象者への周知方法はどのように行われるのか質疑が行われ、全会一致で原案可決すべきものと決定した。

また、協議会活動として、4月20日、少子化・人口減少の現状と課題等、放射能除染計画の進捗状況及び放射能数値について。5月21日には子育て支援に関する事業、高齢者福祉に関する事業について、それぞれ市担当課からの説明を求め、意見交換を行った。

【委員会構成】

委員長	深谷 秀峰	委員	山口 恒男
副委員長	福地 正文	委員	木村 郁郎
委員	高木 将	委員	藤田 謙二
委員	川又 照雄	委員	

産業建設委員会

産業建設委員会では、条例の制定1件、補正予算3件、合計4件の審査を行った。

議案第40号常陸太田市金砂ふるさと体験交流施設

設の設置及び管理に関する条例の制定では、使用料設定の経緯、職員の配置、利用促進に向けたPRの方法について。議案第44号平成24年度常陸太田市下水道事業特別会計補正予算(第1号)では、下水道事業が納付する消費税の算出根拠について。議案第45号平成24年度常陸太田市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)では、簡易水道浄水場における放射性物質検査の実施方法について。議案第46号常陸太田市水道事業会計補正予算(第1号)では、上水道浄水場における放射性物質検査の実施方法について質疑され、付託された4議案を全会一致で原案可決すべきものと決定した。

また、協議会活動として、5月21日、本市の自然エネルギーの現状と課題。6月19日、本市の農産物のブランド化と商品開発についての現状と課題について、それぞれ市担当課からの説明を求め、意見交換を行った。

【委員会構成】

委員長	高星 勝幸	委員	茅根 猛
副委員長	鈴木 二郎	委員	菊池 伸也
委員	宇野 隆子	委員	平山 晶邦
委員	黒沢 義久	委員	



総務委員会・文教民生委員会合同協議会の様子 4月20日開催



産業建設委員会協議会の様子 6月19日開催

議会運営委員会 4/20・5/17・6/8・19 第2回定例会の会期・日程等について協議

4月20日、6月定例会の会期について協議、本会議に諮ることとし、「ひたちおたお知らせ版」及び市民バス・各支所窓口へ掲示することとした。5月17日には第1日の日程、議案等委員会付託、一般質問及び議案質疑の通告期限及び一般質問の発言方法及び時間制限について。6月8日には一般質問の発言通告者及び請願・陳情の取り扱いについて。6月19日には最終日の日程及び追加議案の取り扱いについて協議を行った。

委員長	川又 照雄	委員	高星 勝幸
副委員長	荒井 康夫	委員	深谷 秀峰
委員	高木 将	委員	菊池 伸也
委員	後藤 守	委員	益子 慎哉

議会日誌

4月10日	文教民生委員会協議会
11日	広報委員会
18日	市町村長・市町村議会議長会議
20日	議会運営委員会・全員協議会・県北市議会議長会定例会
23日	茨城県市議会議長会定例会
24日	議会活性化特別委員会
25日	関東市議会議長会定期総会
5月10日	広報委員会・議会活性化特別委員会
17日	議会運営委員会
21日	全員協議会・総務委員会協議会・文教民生委員会協議会・産業建設委員会協議会
23日	全国市議会議長会定期総会
28日	広報委員会・議会活性化特別委員会
6月8日	議会運営委員会・全員協議会・本会議（開会・議案説明）
12日	本会議（一般質問）
13日	本会議（一般質問）
14日	本会議（議案質疑）・議会活性化特別委員会
15日	総務委員会
18日	文教民生委員会・文教民生委員会協議会
19日	産業建設委員会・議会運営委員会・全員協議会
21日	本会議（採決・閉会）

議会を傍聴しませんか!!

傍聴を希望される方は、市役所4階市議会議場前の傍聴受付で所定の用紙に住所、氏名、年齢を記入し、傍聴券をお受け取りください。傍聴するときには、守っていただく注意事項がありますので、係員の指示に従ってください。

9月定例会会期日程（予定）

9月5日(水)午前10時	開会・議案説明
7日(金)午前10時	一般質問
10日(月)午前10時	一般質問
11日(火)午前10時	議案質疑
12日(水)午後1時	総務委員会
13日(木)午後1時	文教民生委員会
14日(金)午後1時	産業建設委員会
19日(水)午前10時	決算特別委員会
20日(木)午前10時	決算特別委員会
24日(月)午前10時	採決・閉会



高木将議員



成井小太郎議員



荒井康夫議員



菊池伸也議員



益子慎哉議員

全国市議会議長会表彰・茨城県市議会議長会表彰在職20年表彰

茨城県市議会議長会表彰在職8年表彰

全国市議会議長会定期総会において、高木将議員が在職20年以上として、また、茨城県市議会議長会定期総会において、高木将議員が在職20年、成井小太郎議員、荒井康夫議員、菊池伸也議員、益子慎哉議員が在職8年として、それぞれ多年にわたり地方自治の進展と、市政の向上に貢献された事により表彰されました。

全国市議会議長会 茨城県市議会議長会から表彰状

編集後記

常陸太田市議会だより第129号では、第2回定例会の主な内容、議会アンケートの集計結果概要を掲載いたしました。

市議会では第2回定例会より一般質問の一問一答方式導入や議会報告会の開催など、市民に開かれた議会へむけて活性化を推進しています。

議会だよりにおいても、議会の内容をより分かりやすくお伝えするため、私たち広報委員一同努力してまいります。

発行責任者
議長 茅根 猛
議員 山口 恒男
委員 益子 慎哉
副委員長 高星 勝幸
委員 深谷 秀峰
委員 菊池 伸也
委員 深谷 郁郎

” ” ” ”

議員辞職のお知らせ

荒井康夫議員の辞職願が、平成24年7月2日付けで許可されました。